

「インターネットを使った調べ学習」

月曜日のこと。

「どうする？」「母さんと一緒にするかな。」「ぼくは、図書館に行くよ。」「私は、インターネットで。」

学校の帰り道に、百合たちが話題にしていたのは、今日、出された「森林保護について調べよう」という社会科の宿題のことだ。提出日は木曜日。塾や習い事をしている百合たちにとって決して簡単にできる宿題ではなかった。放課後の話が宿題のことになるのは、いつものことだった。

百合は、インターネットを利用することにした。学校でパソコンを使う学習が多くなったので、今では操作もずいぶん早くなっていた。



家に帰ってインターネットで調べていると、ある小学校のホームページに上手にまとめられた新聞を見つけた。百合が見つけたのは、「守ろう！みんなの緑を！！未来を！！！」という新聞だった。

「この新聞いいわ。同じ小学生なのに、ここまで作れるなんてすごいなあ。この情報、クラスの人々に伝えたらきつというんな発見があるはずだわ。」

百合は、ホームページに書かれてある森林保護活動の文章のいくつかを自分の新聞へとコピーしてはった。そして、最後に自分の意見を書き加えた。気に入った写真もあったので、コピーしてはり付けることにした。操作も慣れたものだ。

「よし。今日はここまでにしようっと。」
百合は、うきうきした気分で習い事の水泳教室へと向かった。

次の日、友だちの美紀が宿題で困っていたことを知ったので、百合は、「守ろう！みんなの緑を！！未来を！！！」のホームページのことを教えてあげた。美紀は、「助かったあ。ありがとうね。」と言って喜んでくれた。

美紀は、家に帰るときっそく教えてもらったホームページにアクセスした。「ほんと、すてきな新聞だわ。こんなに上手にまとめられるなんて感心しちゃうわ。」そう言うと、黙々と新聞づくりを始めた。

「百合、おはよう。昨日、ありがとうね。」

あのホームページ、ほんとうに参考になったわ。おかげで宿題終わったのよ。それに、自分のホームページに新聞のせたんだ。よかったら見てね。」

「っこりと言う美紀の顔を見て、百合も自然と笑顔になった。」



家に帰ると、百合は、美紀のつくった新聞を見てみることにした。

「教えてもらったアドレスを打ち込んで……。美紀の新聞、どんな新聞になったのかな——。」

百合は、わくわくした気持ちで画面が切りかわるのを待った。

「つながったわ。」

百合が画面を覗き込むと、そのまま体がかたまってしまった。

「これって……。美紀と私の新聞、そっくりじゃない。」
思わず、声に出た。画面に映った新聞は、多少の違いはあるが、百合とそっくりにまとめられたものだった。

（いっしょのホームページを見てつくったからこんなことに——。これって、なんか、いやだな……。）

百合の宿題は、ほぼ完成していた。宿題の提出日は明日ということもあり、百合はすぐに美紀に電話をかけた。「美紀の新聞って私の新聞とそっくりな感じなのよ。悪いけど、なおしてくれないかな——。」

「そんなこと言ったって、もともと百合の新聞じゃないでしょ！」
美紀の言葉が胸につきささった。

電話を切られてからも、ずっと美紀の言葉が頭からはなれることがなかった。百合は、部屋にこもってじっと考え込んでいた。

